


こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blogです

アーカイブ: 2006年12月

2006/12/31

🕒 18:04:19, カテゴリ: [日記](#), views: 818 

大晦日です。

この三日間ほど冬らしい寒さと快晴の空が続きました。
今日で二〇〇六年も終わります。幸せな日々でした。
みなさま、どうぞよいお年をお迎えくださいませ (^ ^)。



こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blog
[吸殻山383番地の家に戻る。](#)
[中央1番地に戻る。](#)

- [最新](#) (キャッシュ)
- [最新](#) (キャッシュされない)

2006年12月				
日	月	火	水	木
3	4	<u>5</u>	6	7
<u>10</u>	11	12	<u>13</u>	14
17	18	<u>19</u>	20	21
24	25	26	<u>27</u>	<u>28</u>
<u>31</u>				
<<	<			

- [最近のコメント](#)

Heavy Hitters

- [Test](#) (20 visits)
- [Walking1日目。](#) (20 visits)
- [詩の歳時記-123 「桜](#)
- [詩の歳時記-56](#) (20 visits)
- [引用文-23・あきらめ](#)
- [詩の歳時記-117](#) (19 visits)
- [詩の歳時記-82](#) (19 visits)
- [花守](#) (19 visits)
- [かぼちゃな一日](#) (19 visits)
- [詩の歳時記-305 「夕](#)
visits)
- [詩の歳時記-274 「あ](#)
visits)
- [詩の歳時記-253 「柳](#)
visits)

検索

- 全ての語
- いずれかの語



枯れ枝が神の足裏くすぐって 昭子



昨日無事旅から帰った愛娘が蕎麦打ちをしました。そういえばクリスマス
 の時は、遊びに出る前にチョコレートケーキを焼いてくれたなあ。家事
 引退気味のわたしに代わって、彼女は立ち上がったか？

• [編集](#)



フレーズ

カテゴリ

- [All](#)
- [百人百詩](#) (100)
- [詩の歳時記](#) (365)
- [詩日記](#) (20)
- [My Haiku](#) (49)
- [Walking](#) (13)
- [引用文](#) (31)
- [日記](#) (163)

アーカイブ

- [2015年11月](#) (1)
- [2015年7月](#) (1)
- [2015年5月](#) (2)
- [2015年3月](#) (3)
- [2015年2月](#) (2)
- [2015年1月](#) (3)
- [2014年12月](#) (2)
- [2014年11月](#) (2)
- [2014年10月](#) (3)
- [2014年9月](#) (2)
- [2014年8月](#) (2)
- [2014年7月](#) (2)
- [続き...](#)

いろいろ

- [管理](#)
- [プロフィール \(admin\)](#)
- [ログアウト \(admin\)](#)

このブログの配信

- RSS 0.92: [投稿](#), [コメン](#)
- RSS 1.0: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 2.0: [投稿](#), [コメント](#)

2006/12/28

🕒 14:15:03, カテゴリ: [日記](#), views: 901 📊

画像サイズのテスト



めったに行かないパン屋さんに昨日は行く機会がありました。これは「カリフォルニア・ウォルナッツコンテスト」で「グランプリ」を受賞したという「くるみのエンジェル」です。わたしの今日の遅い朝食になりました（^^）。

うん。SDカードからパソコンに取り込んだ画像を35%に縮小すると、このブログにちょうど納まるらしい。覚えておこう。メモメモ。。

[2 コメント](#)・[編集](#)



2006/12/27

🕒 22:04:07, カテゴリ: [日記](#), views: 761 📊

午後三時の空

昨夜遅くにすごい雷雨の時に、チャットをやりながら、五年ほど前に雷雨でパソコンが壊れたお話を聞いてドキドキしながら、それでもチャットをやりました（^^）。十二月分の雨量を越えたそうです。季語に「冬の雷」がありましたねえ。今日は風が強かったけれど、暖かく、見事な快晴でした。

■ Atom: [投稿](#), [コメント](#)

[What is RSS?](#)

powered by
b2evolution




冬の雷真夜のガラス窓それぞれに

昭子

• [編集](#)



2006/12/22

🕒 21:41:17, カテゴリ: [日記](#), views: 903 

テスト。



新しいデジカメを買いました（^^）。なかなか使いこなせない。
ズーム率が負けていたので、これに買い替えました。
誰に負けていたかって？わはは。
新しいカメラで撮った夕暮・・・どこが違うのだ？うん？
かなり遠方を撮ったはずですけど。。。まあ。ぼとぼちと。。

ちょっと拡大。。。
SDカードに変わったら、画像サイズの縮小率まで違ってきたの

ね。。




冬至る天の秤は傾きて

昭子

[2 コメント](#)・[編集](#)



2006/12/19

🕒 21:30:25, カテゴリ: [日記](#), views: 750 

初冬の夕暮





「こんな色の夕空が好きよ。」とおっしゃったのは詩人の新川和江さんでした。

この薄桃色の空を見る度に新川さんを思い出します。

薄紅をしずかに流す冬の空 昭子



[2 コメント](#)・[編集](#)



2006/12/13

🕒 22:16:51, カテゴリ: [日記](#), views: 1297

ダリ&クリムト

十二月十一日午後。上野の森美術館にて、桐田さんと「ダリ回顧展・生

誕百年」を観てから、渋谷Bunkamura・ル・シネマで映画「クリムト」を
観ました。今だに頭のなかが混乱しています。「クリムト」については
「ふくろう日記」に書いてあります。



ダリ（1904～1989）の生涯の聖母、保護者・支配者・マネー
ジャーのガラです。ガラは詩人ポール・エリュアールの妻でしたが、ダリ
と駆け落ちをしたのでした。美術展を観たあとで画集を買うかどうかは
いつも迷うところです。（本の置き場が非常事態?!）けれどもこの絵を
観たときに、買う決心をしました。とても気に入りました。



関係ないけど。上野の西郷隆盛さん。晴れた冬空、黄葉の銀杏。おだや
かな一日でした。それから「クリムト」を観て、後はこころのお洗
濯。。。。

寒晴れやお酒の理由ありませぬ

昭子

[2コメント](#)・[編集](#)



2006/12/10

🕒 22:48:34, カテゴリ: [日記](#), views: 780

もうすぐクリスマス



ガラスのクリスマスツリー、とっても小さいものです。高さ10センチ。

飾り物はすべて枝に吊るしたもので、はずすことができます(^^)。




明日は早めのクリスマスになるかな？
いえ。ただ体内の消毒をするだけですけど（^^）。。。。

オルガンのソの音出ない聖夜かな 昭子

[2コメント](#)・[編集](#)



2006/12/08

🕒 11:43:41, カテゴリ: [日記](#), views: 727 

今年最後の満月ね。



ちょっと遅れましたが、今年最後の満月。寒さも本格的に。。。人間にはどうして「冬眠」がないのかしら？とクマやヘビに聞いてみたい季節。

冬の地震熊の寝返り蛇の伸び

昭子

[2コメント](#)・[編集](#)



2006/12/05

🕒 20:17:05, カテゴリ: [日記](#), views: 7288 

描く手・・・エッシャー



前回の日記でエッシャーの絵「でんぐりでんぐり」を紹介しましたが、そのコメント欄にこの絵が現れるのを待っていたかのような、キース・T・ミール氏の詩が書かれていました。そしてまたキース氏はどこかへ消えたのであります。。。 (タイトルないです。)

左手を描いている右手は
 実は左手によって描かれ
 その左手もやはり右手によって描かれている
 世界もきつとこんなふうにはできたんだ
 あなたの手を
 神をそうしたように消し去るとき
 ぼくらは自身の手をみつめる
 ぼくらにできることは
 両の手を交差させ
 ぼくら自身を
 縊ることだけだ

冬の手の組み合うぬくみ小宇宙

昭子

6 コメント・編集



2006/12/02

🕒 14:45:42, カテゴリ: 日記, views: 4972 📍

でんぐりでんぐり



十一月二十九日、渋谷Bunkamura・ザ・ミュージアムにて、「スーパーエッシャー展」を観ました。この絵には「でんぐりでんぐり」という名前が付けられていましたが、「Curl up」とも。。。この小さな生き物はエッシャーが生み出した架空のもの。六本の足で歩くか、体を丸めて転がって進むのでした。

本当の名前は「ペダルテルノロタンドモーヴェンス・ケントロクラトウス・アルティクローヌス」。舌をかみそうな名前があるようです。自然界における車輪の形の欠如に対する不満から生まれた、転がりながら前進する生き物とのこと。ふうむ。だんご虫より進化している(^^)。。。。

または「ヴェンテルテーフィエ」。オランダ語で「ころげまわるメスの仔犬」とも。。それから「ロルペンズ」とも。オランダ語の「rol」が含まれた、「巻く」「回転」という意味。ソーセージの一種だそうです。

どうやら「でんぐりでんぐり」の語源がわかりました（^^）。

年木樵本気で描くだまし絵よ 昭子

[9 コメント](#)・[編集](#)



2006/12/01

🕒 14:50:35, カテゴリ: [日記](#), views: 599 🇯🇵

師走



毎年この月になる度に、誰ともなく「語源は？」という話題が出る。一番に出てくるのは「師が走る。」ですが、先生だけが忙しいわけではあるまいに。ちょっと楽しんでみようかな？

- (1) 師匠の僧がお経をあげるために馳せる「師馳せる」から「師馳す=しはす」。
- (2) 「四季の果てる月」から「四極=しはつ」
- (3) 「一年の最後になし終える」から「為果つ=しはつ」。
- (4) 万葉集の「十二月=しはす」より。
- (5) 日本書紀の「十有二月=しはす」より。

ちょっと調べただけで、これだけ出てきました。(1)説は笑えます。広辞苑を引くと「師走坊主」という言葉があります。「盂蘭盆とは異なり、歳末には布施が少ないところから、落ちぶれ、やつれている坊主。またはみすばらしい者のたとえ。」とあります。ただしその土地の風習によっては、年末に檀家廻りをする坊主もいるようですから、ややこしい。似たような意味で「師走浪人」という言葉もある。わたくしは(4)

(5)あたりを信じたいけれど、他にも説はあるのでしょうか？

やまとぶみ舎人のしはす如何許り 昭子

• [編集](#)



Original template design by [François PLANQUE](#).

